

障害福祉分野の ICT 導入モデル事業における導入事例

法人名 一般社団法人 ガチョック
事業所名 ガチョック

1. ICT 機器の製品名

- ・ ROG Strix G18
- ・ Xperia1V
- ・ Atmosph Window Yo

2. ICT 機器導入前の課題

利用者等の増加に伴い、作業指導などにより、スタッフの事務所外で過ごす時間が増えてきている。外部対応の際に他スタッフの予定の確認など、他のスタッフとのコミュニケーションが必要となり、確認の時間や二重予約といったミスも増えてきている。

この課題に対して、ICT 機器を使い「お互いの予定を共有」「必要な情報の共有」を離れた場所や外出先からも行えるようにしながら、事務所外でも業務ができるよう改善したい。

また、業務で使うスマートフォンは現在、スタッフの私物を使用しており、外出等の打合せなどで予定の変更の対応が難しいこと、また利用者さんの情報やりとりなど、セキュリティ面も課題となっている。

3. ICT 機器導入の推進方法

各スタッフが業務として使用する端末と壁掛けのデジタルカレンダーを用意し

- ・ 端末
- ・ デジタルカレンダー

に Google カレンダーを同期。

どの端末でもカレンダーの予定を追加、書き換えられるようにした。

また、スタッフ間で「Google カレンダーに記載が無い場合、予定は無いものとする」という認識を共有。

4. ICT 機器導入後の成果

①業務効率化について

予定調整の際に、スタッフ間の調整が不要となったことで「無駄な調整時間」がなくなった。

②職員の負担軽減について

「Google カレンダーに記載が無い場合は予定が無い」という認識のもと

- ・ 予定調整の際に、Google カレンダーを確認するだけでどこにいてもすぐに 1 人の判断で返事ができる。(他スタッフと口頭での調整が不要となった)
- ・ 外出先などで「この日は空いていますか?」といった調整が必要になった場合、その場で返事ができる。
- ・ A スタッフが外出している際にあった、A スタッフの予定確認に対しても端末やデジタルカレンダーを確認し、B スタッフが確認、先に Google カレンダーに追加し、A スタッフに報告することで効率化を達成した。

5. 今後の課題

- ・ 連絡調整による無駄を大きく省略することとなり、業務改善となった。
 予定調整における課題は解決し、これ以上の効率化は考えにくい。
 朝のミーティングなどで予定を確認している事業所など、多くの事業所が取り入れることで時間の効率よく使えるのでは無いかと思っている。
- ・ 課題があるとすれば、壁掛けのデジタルカレンダーは便利だが、利用者さんも見れる場所に設置することで「情報を隠して表示する」かどうかの判断を迫られ、使いやすさと情報管理のトレードオフが生じることとなった。

6. 写真

当事業所のカレンダー画像 (パソコンの場合)

各スタッフ事に色分け、時間などを記入して見やすいように工夫している。

